

「共創・MaaS実証プロジェクト」(令和6年度)について

別紙資料5

地域の多様な関係者の「共創」により地域交通の維持・活性化に取り組む実証プロジェクト等を支援します！

1. 共創モデル実証運行事業

※運行（次年度に運行する場合や既存運行を活用する場合を含む）を伴う実証事業が対象となります。
運行の交通モード（鉄道・路線バス・デマンド交通・自家用有償旅客運送・タクシー・航路など）は問いません。

交通を地域のくらしと一体として捉え、地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)※によりその維持・活性化に取り組む実証事業

【補助対象事業者】 交通事業者等を含む複数の共創主体で構成される協議会や連携スキーム等
（「共創プラットフォーム」）

※「官民共創」、「交通事業者間共創」、「他分野共創」(交通と他分野の垣根を越えた連携)

【補助対象経費】

- ・事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等
- ・事業実施にあたり必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費
- ・実証事業に要する経費

＜補助率＞ 地域の類型に応じて、メリハリをつけた支援を展開します！（補助上限額：1億円）

A 中小都市、過疎地など 〔人口10万人未満の自治体〕	B 地方中心都市など 〔人口10万人以上の自治体〕	C 大都市など 〔東京23区・三大都市圏の政令指定都市〕
500万円以下は定額 500万円超部分は2／3	補助率2／3	補助率1／2

2. モビリティ人材育成事業

地域公共交通のリ・デザインを推進するため、モビリティ人材（交通に関する知見・データ活用のノウハウ・コーディネートのスキル等を有する人材）の育成にかかる仕組みの構築や運営を行う事業

【補助対象事業者】 地域における交通やまちづくりに取り組む人材の育成を行う、都道府県・市町村・交通関係団体・まちづくり団体等の民間事業者
NPO法人等

【補助対象経費】 地域交通分野におけるモビリティ人材の育成に関する取組実施経費

【補助率・上限額】 定額（上限3千万円）

※「日本版MaaS推進・支援事業」については、令和6年4月以降に別途公募します。

募集期間
(1次公募)

令和6年2月27日～4月5日16:00

※4月下旬以降、2次公募を予定

事務局（パシフィックコンサルタント株式会社）
各地方運輸局交通政策部企画課 等

応募方法の詳細・問合せ先は特設ウェブサイトへ！

地域交通 共創

検索

上記1及び2の応募にあたっては、
実施地域の自治体等から推薦を得て
いることを要件とします。

問合せ先

[URL] <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/>

カルテラの里を未来へ繋いでいくプロジェクト

あかいがわ共創プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	赤井川村
事業実施地域	赤井川村、余市町
共創の類型	官民共創・他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉・宅配・物流・観光・まちづくり・その他(DX)
共創パートナー	赤井川ハイヤー、キロリゾート、赤井川村社会福祉協議会、赤井川村DMO
運行形態	自家用有償旅客運送、ボランティア輸送
運行主体	赤井川ハイヤー、社会福祉協議会

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

路線バス撤退後、村独自で「むらバス」を運行しているが、キロリゾート外国人スタッフの利用増により、村民の乗り漏れや遅延が発生しているほか、運賃は現金決済のみであり、乗務員負担が増加している。また、夏季よりも冬季の需要が大きく繁閑格差が生じており、むらバスも含め地域全体の乗務員の通年雇用に困難が生じていることに加え、観光コンティックにおいても繁閑格差が課題となっている。今後もライラインとして持続可能な公共交通の運行に向け、DX・医療・観光・物流に係る関係者との共創を目指すものである。

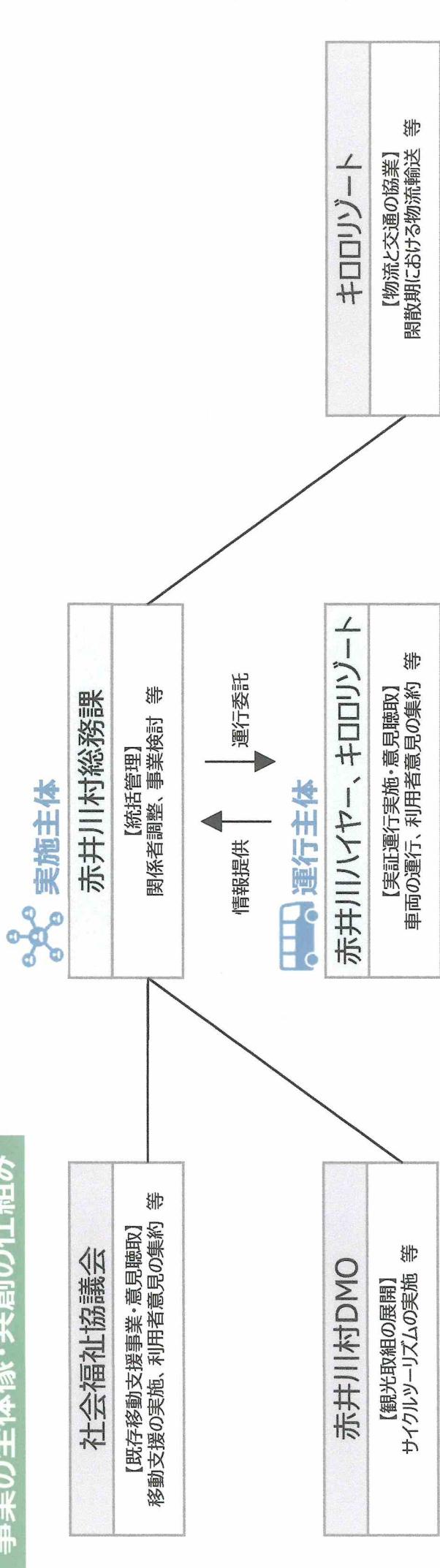
(事業の概要)

- キロロの外国人スタッフの利用増加にによって住民の利用に支障 → 大型車両導入
- 現金決済のみであるため遅延、乗務員負担増加 → 「むらバス」のDX化(キヤッショレス、予約システム)
- 繁閑格差により乗務員数の通年雇用が困難 → 物流との連携による開散期の業務創出(乗務員による貨客連携)
- 夏季のコンティック不足による冬季と夏季の繁閑格差 → 「むらバス」と連携したレンタサイクル導入

カルテラの里を未来へ繋いでいくプロジェクト

あかいがわ共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

赤井川村総務課がプロジェクト全体の統括管理を担う。実証運行路線の主な運行主体は赤井川ハイヤー及びキロロリゾートが担い、また、既存移動支援事業を社会福祉協議会が担い、本取組における交通分野の事業実施を図る。また、本年度においては、観光分野との共創事業も見据えているため、観光ニーズや観光実態の情報提供等の役割を赤井川村DMOが担う。

(実証事業により見込まれる効果)

- ・むらバスの利用者数の増加 : R4延利用者数9,184人→対前年比2.0倍以上、
- ・キヤッセレス決済利用者数の増加 : 0人→200人、・予約システムの実利用者数の増加 : 0人→10人、
- ・レンタサイクル利用者数の増加 : 0人→10人、・公共交通の運行に係る従業員数 : 10人→11人

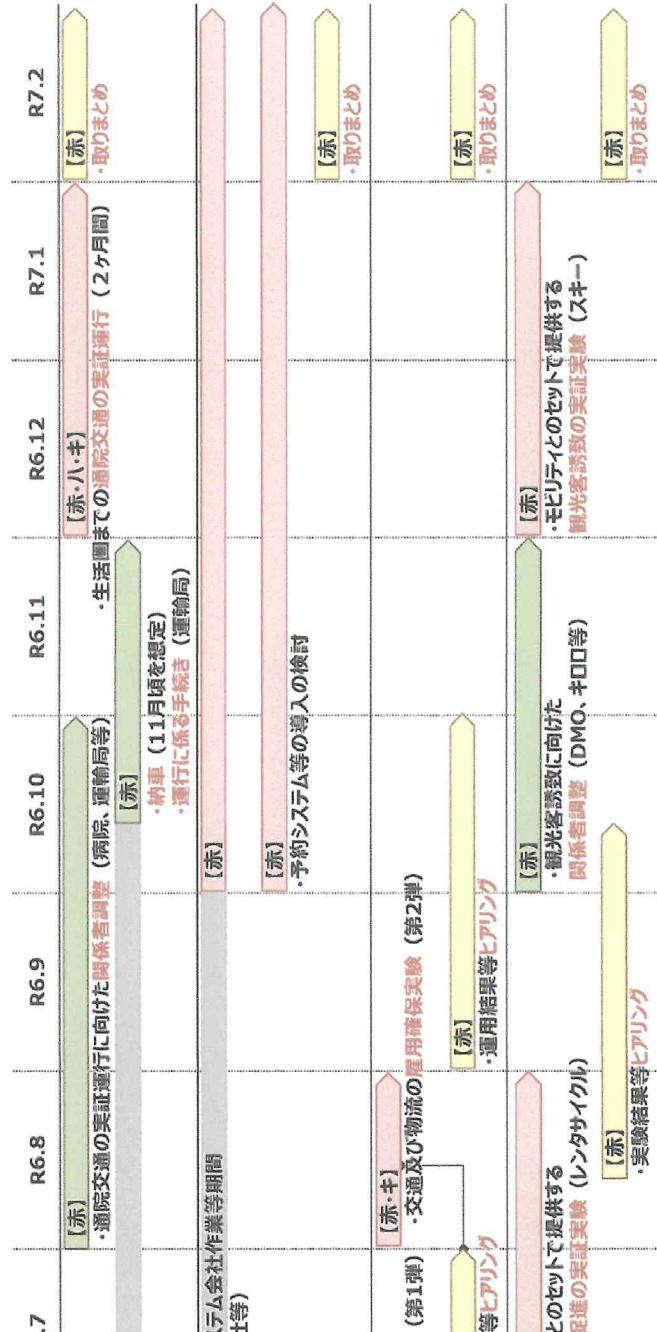
カルテラの里を未来へ繋いでいくプロジェクト

あかいがわ共創プラットフォーム

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
交通 X											
医療											
生活圏までの 通院交通の確保											
実証運行車両の導入 ※補助事業採択後すぐに発注	[赤]										
DX											
モビリティ間の シームレス化											
物流											
交通及び物流の雇用確保 実証実験 関係者調整	[赤]										
観光											
観光客誘致 及び村内周遊 等の促進											



【実施主体凡例】赤井川村：赤、社協：社、DMO：D、キロロ：キ、ハイヤー：ハ

(補助事業実施後の予定)

- 行政の財政確保のほか、公共交通運行事業(は地域公共交通運行事業の継続した活用を想定し、持続可能な取組を目指すものである。

カルテラの里を未来へ繋いでいくプロジェクト

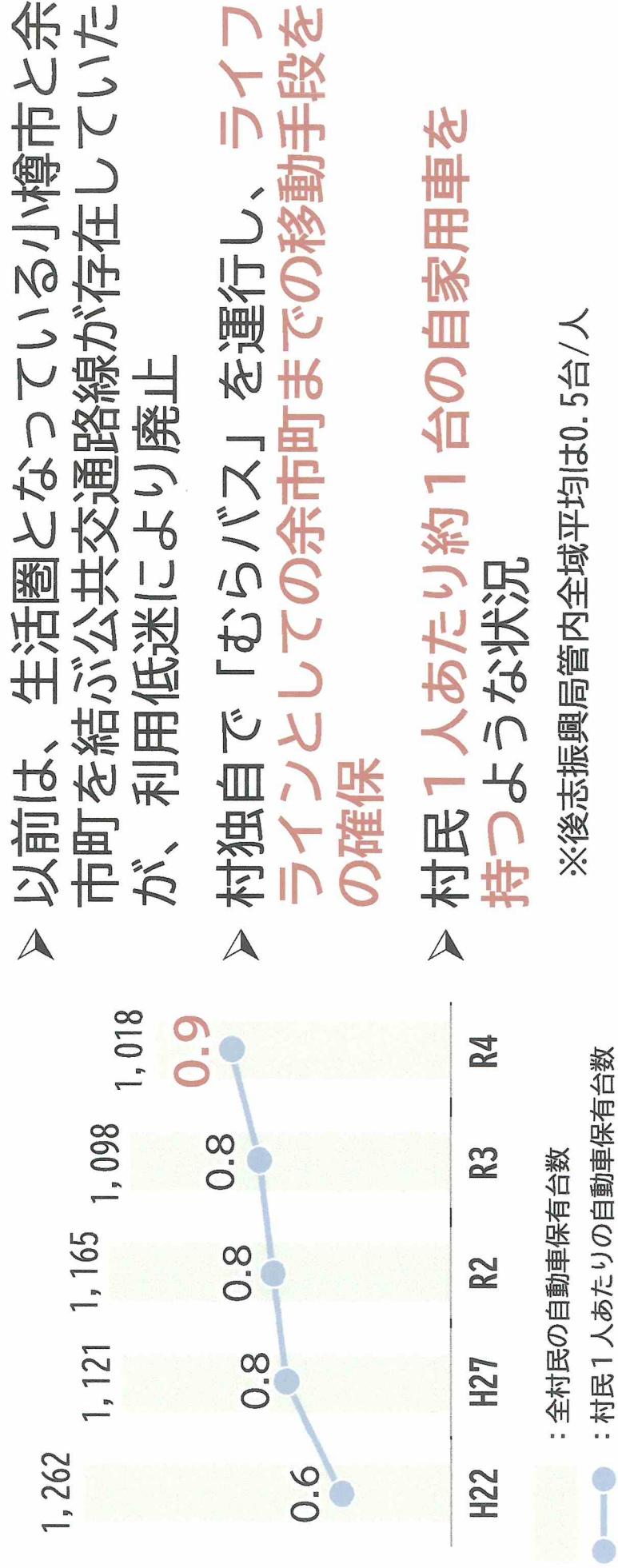
HOKKAIDO AKIGAWA VILLAGE

共創モデル実証運行事業 補足資料

赤井川村を取り巻く状況



▼自家用車への依存



■ 赤井川村を取り巻く状況

▶ 人口の急激な増加

- 12%増加 1,275
- 1,143
- | | |
|-------|---------------|
| 310 | 外国人
(約24%) |
| 1,275 | 全人口(人) |
- R5.4時点の全人口(人) R5.12時点の全人口(人)
- ▶ キロロリゾートの今冬開業に合わせ、
外国人スタッフの移住者が増加
 - ▶ 外国人スタッフという特性上、自家用車
を持たない傾向にあり、**公共交通の需要
の高まりが発生**
 - ▶ 赤井川村内だけでは住居を確保できない
ため、**近隣自治体から通勤するスタッフ
が発生**

■ 赤井川村を取り巻く状況

► モビリティの価値の向上

61%増加

9,353



5,807

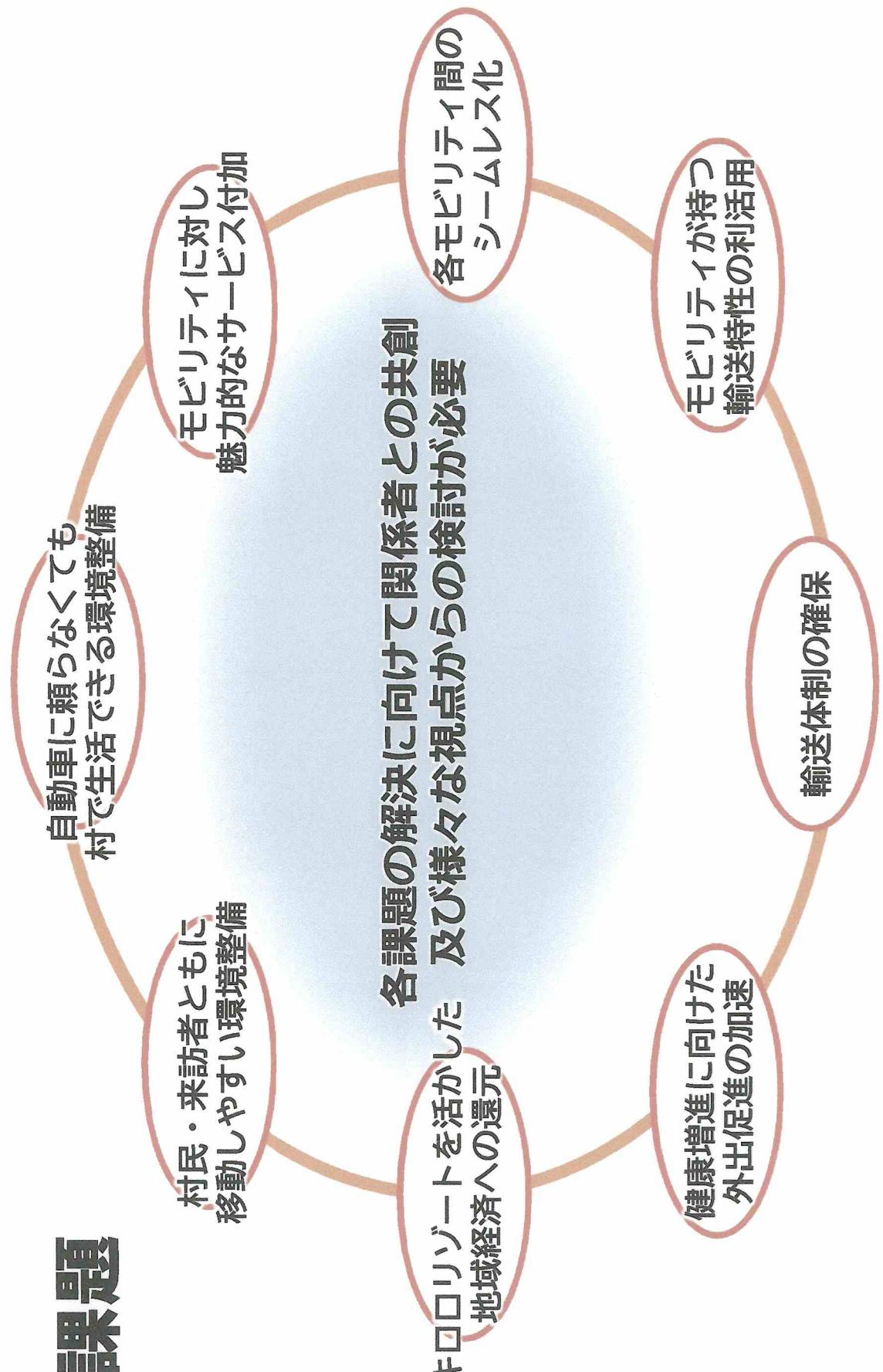
- むらバス利用者の急増や「お出かけアシスト」が開始し、**ソフト面での利便性向上の取組が重要視**
- キロロリゾート宿泊者や従業員休暇時の**村内及び周辺周遊の促進**
- 物流における2024年問題にに対する**むらバスの利活用拡大**
- 現状の車両では**移動ニーズを完全には満たせない状況**

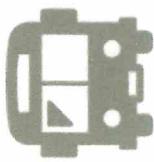
R4. 4~11	R5. 4~11
延利用者数	延利用者数

赤井川村を取り巻く状況



課題





共創モデル実証運行事業



※副次的な外出促進として位置づけ

- ・課題解決に向けて、交通分野単独での事業検討ではなく、他分野と共に創した事業展開が必要



共創モデル実証運行事業

交通 × 医療

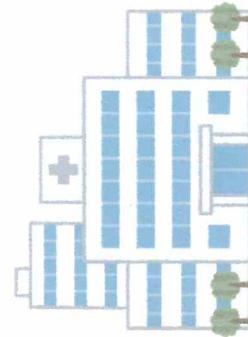
生活圏を踏まえた
通院交通の充実

【令和6年度事業イメージ】

赤井川村から



共創事業実証運行
による輸送



余市町へ

- ✓ 生活圏である余市町の総合病院
までの通院交通の充実



共創モデル実証運行事業

交通 × DX

余市町までの繋ぎ目のないシームレスを目指した
ヒトの輸送の高度化

【事業イメージ】

自宅から

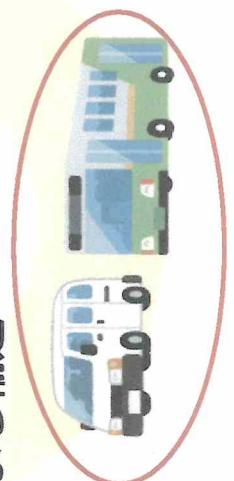


- ✓ お出かけアシストや通院送迎などの既存モビリティに対し、知らせてビューア・LINEなどによるWeb予約の双方向DXの確立
- ✓ Web予約システムの検討



余市町へ

既存事業
による輸送



デジタル予約



共創モデル実証運行事業

交通 × 物 流

社会情勢に適応し、リゾースを有効活用した

雇用の安定化

【令和6年度事業イメージ】

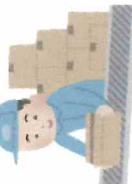


リゾートバス
乗務員



赤井川村産農産物
(ブロッコリー等)

農産物需要先
(札幌・江別集荷場、)
コープさっぽろ(ほか)



- ✓ キロロリゾート開散期のリゾートバス乗務員（実証運行）のリソースを活用
- ✓ 村から集荷場等までの輸送業務を担う



共創モデル実証運行事業

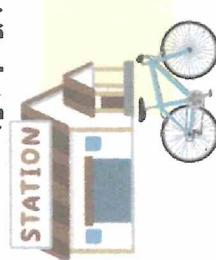
交通 × 觀光

オールレザーズンの観光に向けた

美しい村観光取組の拡充

【令和6年度事業イメージ】

余市駅



積雪期



共創事業実証運行による輸送



村内ツーリズム



共創事業実証運行による輸送

余市駅



積雪期



スノーアクティビティ

- ✓ 訪問者持参もしくはレンタルによるサイクリングリースームキロリゾートでのスキーや利用の促進

- ✓ これら取組とモビリティ運賃をセットにしたパック提供

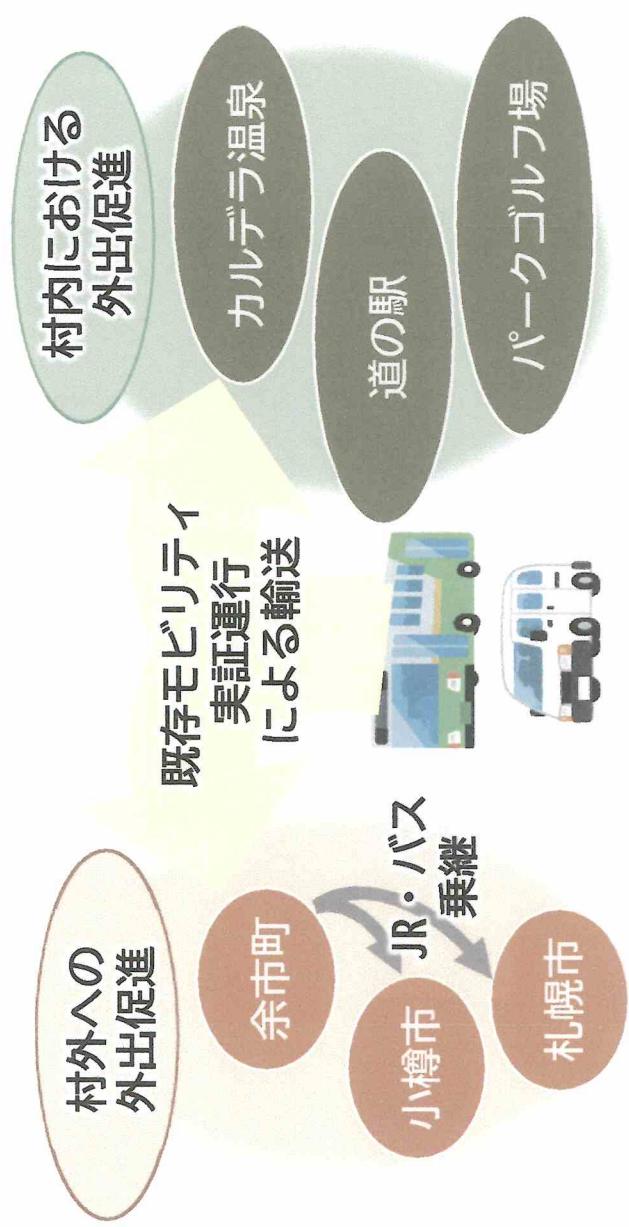


交通 × 福祉

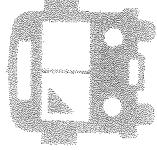
高齢者免許返納・外出促進による健康増進を目指した

憩いの場の創出

【令和6年度事業イメージ】



- ✓ 村内の憩いの場などに既存モビリティ等による外出促進を確保した外出促進
- ✓ 自動車がなくても健康かつ意欲的な外出ができる村へ



共創モチベーション実証実験事業（案）

P14

交通 ×	令和6年度 実施内容（案）	令和7年度以降 実施内容（案）
医療	・通院交通の実証運行	・通院交通の確立
DX	・運賃支払い方法のデジタル化 ・Web予約システムの検討	・Web予約システムの確立
物流	・乗務員活用実証調査 ・通年雇用体制の検討 ・貨客混載可能性のヒアリング	・通年雇用体制の確立
福祉	・移動モデルケースの提案・体験会の開催	・外出促進に向けた取組の検討・実施
観光	・サイクルツーリズムと連動した実証運行 の実施 ・スキーキャンプと連動した実証運行の実施	・生活交通と観光交通による持続可能性の 確保体制の確立
全体	・各分野で活用する運行車両の購入	・実施内容検討